

第2章のまとめ

◆水道事業

安心 安全で良質な水が供給されているか

本市の水道は、厳しい水質基準を全てにおいて達成し、水道のおいしい都市として評価されています。
 今後とも、安全で良質な水道水を供給するため、水質検査体制の充実を図るほか、水源から蛇口まで総合的に品質を管理する仕組みを構築・推進する必要があります。
 また、より一層安全でおいしい水を提供するため、直結給水の推進や新たな浄水方法の研究をする必要があります。

安定 いつでも使えるように供給されているか

水道供給の現状は、水道加入を希望するほぼ全ての市民に対し、安定供給しています。
 今後とも、水源の適正な保全のほか、人口・景気の動向、気候の影響などを考慮し、必要な水量を確保するとともに、将来の水需要に対応した計画的な水道施設の整備を行う必要があります。

管理 維持管理が適正になされているか

水道管からの漏水防止は、維持管理上の重要な課題となっています。
 今後とも、持続可能な安定給水を確保するため、漏水の抑制に取り組むとともに、老朽化した配水管や水道施設について、必要な修繕や計画的な改築更新を行う必要があります。

◆危機管理体制

安全 危機管理体制は万全か

本市は、大地震などの災害が少ない都市であると言われていいます。しかし、将来にわたって市民生活に欠かすことのできない上下水道を維持するために、上下水道施設の耐震化などの対策を推進するとともに、災害時等における適切な水運用を図る必要があります。
 また、万が一、災害や事故が起きた場合に、迅速に対応できるように、災害時等における緊急時体制の強化など、災害に強い上下水道を確立する必要があります。

◆下水道事業

快適 生活排水が適正に処理されているか

地域の状況に即した効率的な下水道整備が求められていることから、将来の処理水量に基づく計画的な施設整備を図ることが必要です。
 また、河川などの公共水域の水質保全を図るため、合流式下水道の改善や事業場排水の水質の適正化を図る必要があります。

安心 市街地の浸水被害は解消されているか

市街地の浸水被害を解消するため、今後とも公共下水道雨水幹線の整備を推進する必要があります。
 また、市民協働による宅地内雨水貯留・浸透施設設置の促進など、雨水流出の抑制を図る必要があります。

管理 維持管理が適正になされているか

不明水の下水道への流入を抑制することが、維持管理上の重要な課題となっています。
 今後とも、不明水の流入抑制により下水処理の効率化を推進する必要があります。
 また、老朽化の進む下水道施設・管渠について、必要な修繕や計画的な改築・更新を推進する必要があります。



目標達成に向けた施策・事業の推進

◆お客様サービス

満足 お客様満足度の高いサービスを提供しているか

お客様ニーズを踏まえた事業運営を展開するため、マーケティング調査の強化など、広報広聴活動を充実強化する必要があります。
 また、受付サービスの充実など利便性の向上を図り、お客様満足度の向上を推進する必要があります。

◆環境保全

環境 環境への影響を低減しているか

これまで局庁舎の屋上緑化、雨水の再利用及び浄水・下水処理の過程で発生する汚泥の資源化など、環境負荷の低減に取り組んできました。
 今後とも、環境にやさしい事業運営を推進するため、施設の屋上を利用した太陽光発電や水道送水管を利用した小水力発電など、クリーンエネルギーの有効活用に積極的に取り組む必要があります。

◆信頼経営

信頼 お客様に信頼される健全な経営をしているか

料金収入の大幅な増加が見込めない中、財政構造改革を推進し、上下水道料金の収納率の向上や加入・接続促進による料金の適正な確保などを図るとともに、工事コストの削減や事務事業の見直しなどにより、経営の健全性を確保する必要があります。
 また、人材育成を強化し、公営企業を運営するために必要な職員の育成と技術力の向上を図る必要があります。